

業務部からの報告事項

業務部からの報告事項

1 基金事務所移転に伴う記録管理システム停止について

令和6年11月の事務所移転に伴い、旧事務所に設置していた記録管理システムサーバ機器等を新事務所に移転するため、令和6年10月28日（月）から11月1日（金）まで記録管理システムを停止し、翌営業日の11月5日から通常稼働しております。

2 令和6年度事務処理遅延の発生及び事務処理状況調査の実施

農業者年金の届出書等に係る事務処理が6か月以上遅延した場合には、発覚の都度、業務受託機関より連絡をいただき、業務改善計画の提出をいただいているところです。

令和6年度（※作成時点）については、これまで34業務受託機関、55件の届出書について事務処理遅延の報告がありました。（被保険者関係（政策支援関係以外）等8件、死亡関係40件、裁定請求関係6件、政策支援関係1件）

また、令和6年度も9月1日から9月20日を調査対象期間として全ての業務受託機関を対象に、農業者年金の届出書等に係る事務処理状況の一斉調査を行った結果、4業務受託機関、5件の届出書等について事務処理遅延が発覚しました。（死亡関係4件、支給停止関係1件）

さらに、令和5年度分の業務改善計画のフォローアップ調査を行っているところであり、再発防止を徹底してまいります。

3 令和6年度保険料の納付額について

令和6年度は、通常加入で新規加入した被保険者のうち、5万円以上の保険料を設定した者が例年より多い状況です。

また、納付方法についても前納納付を希望されている被保険者が例年より多い状況です。

農業者年金の保険料は、全額社会保険料控除の対象となることも、農業者の関心事であると推測されます。農産物の価格等の農業者を巡る状況も踏まえながら、業務を推進して参ります。

4 記録管理システムの利用促進の取組について

記録管理システムの利用を促進するため、「令和6年度農業者年金記録管理システム利用促進取組方針」を策定し、全業務受託機関宛てに令和6年6月19日付けで通知しました。

記録管理システムの利用登録割合は、令和5年度末と比べて、令和7年2月末時点では農業委員会は0.8%増加、JAは合併が進んだことから0.2%減少し、記録管理システムを利用した届出書の作成割合については、農業委員

会は1.61%増加し、JAは3.16%増加している。都道府県段階の業務受託機関が主催する記録管理システム操作研修会に講師を派遣する等により、引き続き業務受託機関に対して利用促進を強く働きかけています。(令和6年度派遣実績：27 府県)

○記録管理システムの利用登録割合(令和5年度末→令和7年2月末)

農業委員会 78.2%→79.0%(前年度比 0.8%増)

J A 90.3%→90.1%(前年度比 0.2%減)

○記録管理システムを利用した届出書の作成割合

(令和5年度末→令和7年2月末)

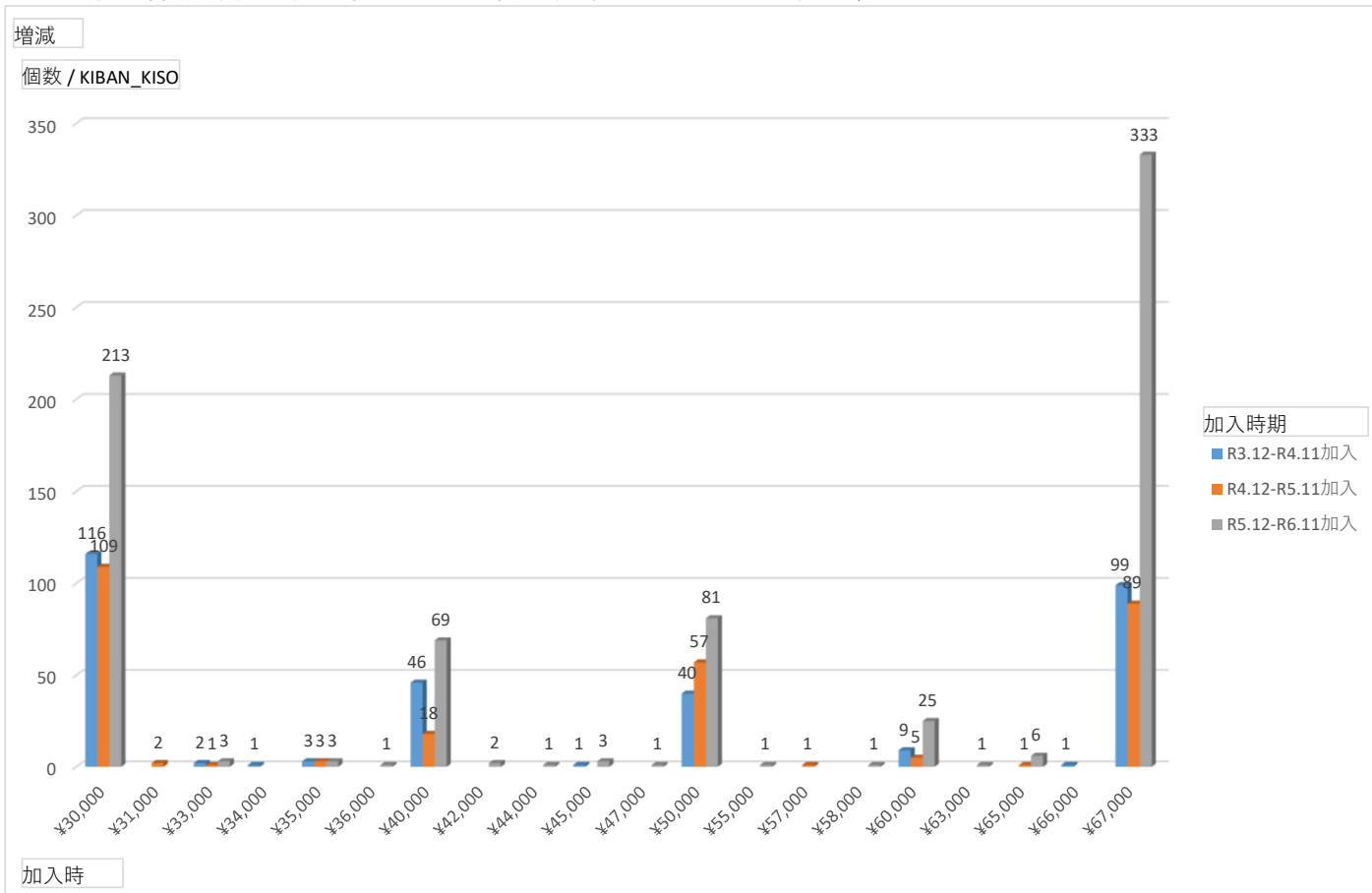
農業委員会 36.88%→38.49%(前年度比 1.61%増)

J A 44.23%→47.39%(前年度比 3.16%増)

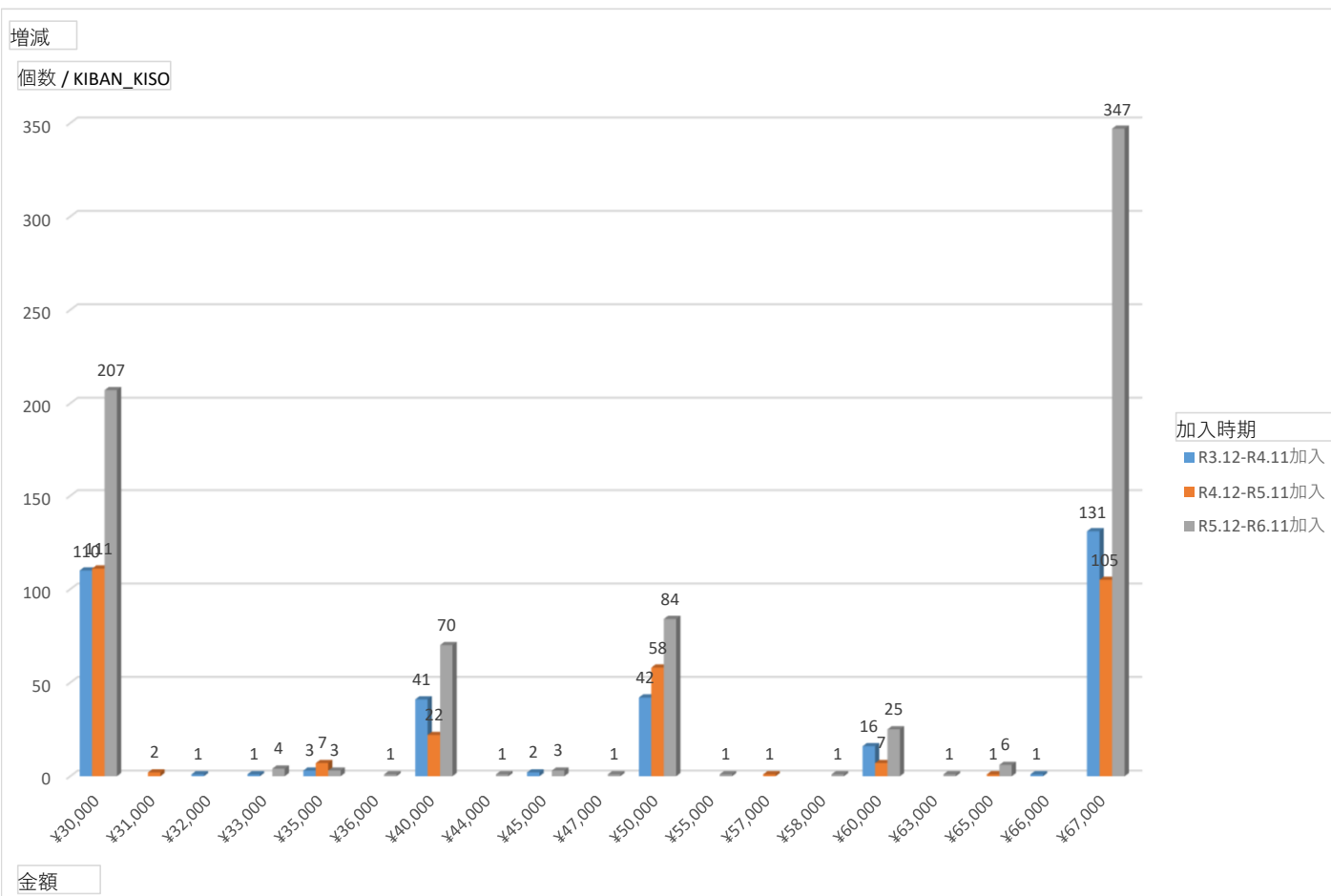
5 令和6年度農業者年金業務に係る個人情報保護対策等に関する管理状況等調査について

農業者年金業務を受託している全ての業務受託機関(2,315 機関)を対象に、令和7年1月1日現在の農業者年金業務に係る個人情報関係書類の管理及び情報セキュリティ対策等の状況を確認することを目的とした調査を実施しました。調査結果については、分析の上、業務受託機関の管理状況の改善が図られるよう会議等の機会を活用し、説明していく予定です。

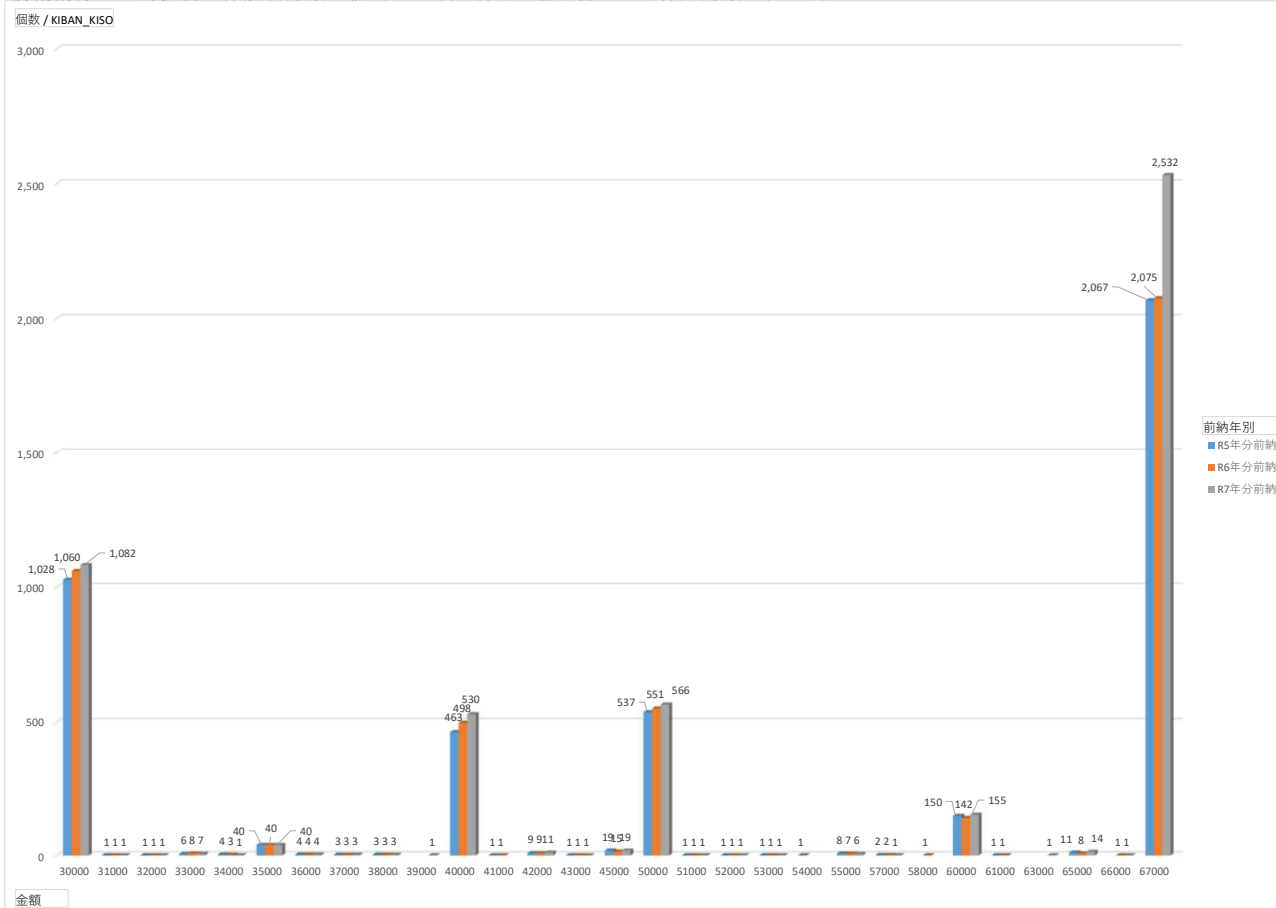
加入時の保険料月額比較（三ヵ年／新規加入者）月額30,000円以上



12月振替時の保険料月額比較（三ヵ年／新規加入者）月額30,000円以上



前納納付の12月振替の保険料月額比較（三ヵ年／既加入者を含めた全体）月額30,000円以上



毎月納付の12月振替の保険料月額比較（三ヵ年／既加入者を含めた全体）月額30,000円以上

